

## 【エクアドル内政・外交：2009年4月】

### 1. 概要

- 4月 6日 社会保障庁銀行創設法可決
- 18日 第5回米州首脳会議及び南米諸国連合(UNASUR)会議
- 23日 ファルコニ外相、スペイン訪問
- 26日 総選挙

### 2. 内政

#### (1)総選挙

26日、エクアドル総選挙第1回投票(大統領・副大統領選挙、国会議員選挙、県知事・副県知事選挙、市長選挙及び市議会議員選挙)が実施された。

26日17時20分、コレア大統領は民間世論調査会社による出口調査結果を受け、勝利宣言を行った。コレア大統領は「我々は、今回の歴史を築いた全ての方々に感謝する。我々は、宗教権力を含んだ大きな権力に再度勝利を収めたのである。市民革命(Revolucion Ciudadana)は進展中であり、如何なる者もその進展を妨げることはできないのである。我々は、貧困層のために尽力しているし、今後も尽力し続けるであろう。我々の優先は、弱者と貧困者である。我々がエクアドル国民を裏切ることには決してない。エクアドルでは、1997年以来、任期を全うした大統領が存在しなかった。しかし、この度、我々は第1回投票により当選したのである。これは歴史的なことである。本日、我々には、エクアドル国民大多数、また投票を行った外国人に対する感謝の言葉しかない。特に、我々の祖国から出て行かざるを得なかった海外在住エクアドル国民に対し感謝する。この新たな状況が訪れたことにより、エクアドル移民はエクアドルに戻ってくることができるだろう。常に勝利に向かって(Hasta la victoria siempre.)」と述べた。

#### (2)社会保障庁銀行創設法

6日、立法・査察委員会は『社会保障庁(IESS)銀行創設法(Ley de creacion del Banco del Instituto Ecuatoriano de Seguridad Social)』を、賛成票41、反対票6、白票3、欠席7を以て可決した。同法案は30日以内にコレア大統領に再度差し戻され、同大統領の承認が得られれば官報に掲載の上発効となる。

### 3. 外交

#### (1)第5回米州首脳会議出席

18日及び19日、コレア大統領は、トリニダード・トバゴで開催された第5回米州首脳会議及び南米諸国連合(UNASUR)会議に出席するとともに、モレノ米州開発銀行(IDB)総裁、クリントン米国務長官等と個別会談を行った。

#### (2)対スペイン関係

23日、スペインを訪問したファルコニ外相は、モラティノス・スペイン外務・協力大臣と会談し、スペイン在住エクアドル人子弟の国籍に関し協議した。

両大臣は、様々な二国間関心テーマ、ラテンアメリカ地域アジェンダ及びエクアドル・EU関係についても協議した。モラティノス大臣は、対UE協力協定に関し、貿易面のみならず政治的対話や協力を含むものにすべきというエクアドルの立場をEU関係各国に伝達すると確約した。

### **(3)対中国関係**

2日、コリア大統領は、当国訪問中の Cao Wenjiang 中国国家開発銀行代表団長等と会談した。同会談には、エクアドル側からファルコニ外相等が同席し、中国側から Cai Runguo 在エクアドル大使等が同席した。コリア大統領は、Cao Wenjiang 団長等と、エクアドルにおけるエネルギー分野のプロジェクトへの中国による10億米ドルの融資につき協議した。

**※以上は、当地新聞情報をとりとめたものです。**